

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)		-	-
		スーパー（経営者）	・11月13～15日まで近隣でコンサートが開催されるため、来月から3か月半は仕出して忙しくなる。県中小企業融資制度を利用して、運転資金を借りる予定である。
		衣料品専門店（経営者）	・8～9月はほとんど仕事にならない。夏が終わって涼しくなり始めると、秋冬物の需要が出始める。
		一般レストラン（経営者）	・昼は単価を気にしない客が多く、景気はそれなりに良くなっているものの、夜の飲み客の動きが相変わらず気になっている。
		都市型ホテル（支配人）	・例年同様に繁忙期となり、宿泊予約も順調に入ってきている。
		遊園地（職員）	・今後も新規施設やイベント実施等により、引き続き多くの客の来園を期待する。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・気温が高止まりしているので、トイレやお風呂で亡くなるものが少なくなっている。もう少しすると、朝晩は冷えてくるので、状況も変わってくる。
		商店街（代表者）	・当店は学校相手を主にしている。秋までは学校行事がいろいろとあるので、それほど変わらない。
		商店街（代表者）	・夏休みに入り、都会から避暑のための脱出客に期待している。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・必要な物への出費はあるが、必要のない物やコトへの出費はしない。今夏の猛暑や、平成30年7月豪雨のような自然災害等での売上げが景気に結び付くとは言えない。
		百貨店（営業担当）	・このところの状況をもても、良くなる要素はなかなか見当たらない。猛暑で、台風も来たりと、それほど変わらない状況が続くとみている。
		百貨店（売場担当）	・6～7月トータルで見ると、前年に食いついてるものの、8月は猛暑の影響で、客のセールへの関心をどこまで引っ張れるか、秋物への移行展開が、購買に上手くつなげられるかは、施策が重要となってくる。
		スーパー（経営者）	・天候要因で販売好調のため、今後も天候次第で力強さはない。
		スーパー（経営者）	・野菜の高騰が気になる。
		コンビニ（経営者）	・コンビニは、従来から7～8月がピークとなる傾向で、9月頭くらいまではこの調子で行くと思うが、それ以後は下降していくのはやむを得ない。
		コンビニ（店長）	・しばらくは暑さが続くということなので、この調子で行けば何とか今月のような形で変わらない。ただ、客に慣れとか飽きのような感じが出てくると、若干落ち込むかもしれない。
		家電量販店（店長）	・集客数の改善が見込めない。
		乗用車販売店（経営者）	・消費税増税の動向によっては、車両販売にも動きがあるかもしれない。
		一般レストラン（経営者）	・相変わらず異常気象のようで、外出に抵抗感がある限りは期待できない。
		一般レストラン（経営者）	・希望的な見方をしての変わらないである。良しあしの差がとて大きい。良いところも変化が早過ぎて、長続きしていない。
		スナック（経営者）	・猛暑で生ビールの売上は伸びているが、一時的なものだと思うので、長期的にはそれほど変化はないとみている。
		スナック（経営者）	・変わらないというよりは悪くなると思うが、これ以上変わらないでほしいという願いからの回答である。本当に良くなる要素が1つも見当たらない。何か方法はあるだろうか。
		スナック（経営者）	・連日続く猛暑で期待していたら、むしろ納涼会なども余り行われない傾向にある。これからお盆休みに入って、お盆明けもかなり暇になると予想されるので、しばらくは厳しい状態が続くとみている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・今後の予約は、伸び悩みが続いている。フリー客は天候が安定していると動きを感じられるものの、予約受注は相変わらず鈍い推移である。
		タクシー運転手	・乗務員の数が減った上に、夜に動ける乗務員が減っている。
		ゴルフ場（経営者）	・猛暑予報で、予約は伸びない。日中の街中は、がらんとしている。
		美容室（経営者）	・今後の売上を左右する方策は見当たらず、良くなる要素も見つからない。早く残暑が終わり、客が秋のイベントに出かけることを期待したい。
		設計事務所（経営者）	・すぐに実施設計に入る物件数が少ない。

	百貨店（店長）	・猛暑の影響もあり、年配者の来店が少ない。特に、今まで比較的好調だった食品も余り良くない。
	スーパー（副店長）	・前年と比べて悪くなるというわけではなく、あくまでも2～3か月先の秋の訪れとともに、節約志向が高まるためである。
	コンビニ（エリア担当）	・同業の競合店よりも異業種の競合店の方が、競争相手としては怖い。現実問題、コンビニ業界にとって、スーパーマーケット、総合スーパーマーケット、ドラッグストアの攻勢に耐える強度が課題となっており、じりじり下がっている。
	乗用車販売店（経営者）	・新型車のイベントに乏しいことと、メーカーのコンプライアンスに関するネガティブな報道が、販売に影響する懸念がある。
	自動車備品販売店（経営者）	・賃金上昇と採用難による人材の補てんが思うようにはいかない上、契約先からの販売増要請も続き、現場の疲労感が高まる。IT化投資により、しばらくは経費が先行する。
	観光型ホテル（支配人）	・今年の猛暑は、避暑地であった当地でも避暑にならないほどの暑さである。この影響で出控え、平成30年7月豪雨災害の影響も多少残ると懸念している。
	観光型旅館（経営者）	・最近秋の行楽シーズンの団体旅行が減少傾向にあり、今年も同様に減少が予想されているため、やや悪くなる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・西日本の平成30年7月豪雨災害によるマインドの部分や猛暑が続いて、外出を控えがちになりそうである。
	旅行代理店（副支店長）	・平成30年7月豪雨による災害や猛暑などで旅行の中止、延期などが予想される。また、天候不順は農家の収穫、収入に大きく影響を与えるため、今後のレジャー等への影響も大きく懸念される。海外旅行も同様で、世界中が異常気象のため、マスコミ報道での風評が心配される。
	通信会社（経営者）	・猛暑等もあり、テレビ以外の家電に関心が移り、テレビ視聴や多チャンネル放送への関心は薄い。
	住宅販売会社（従業員）	・別荘の仲介実績が低迷し、単価も下落傾向であるため、やや悪くなる。
	× 衣料品専門店（経営者）	・来年の消費税増税前に、今からこれだけ景気が悪いので、ますます景気が悪くなるとみている。
企業 動向 関連  (甲信越)	-	-
	*	*
	食品品製造業（営業統括）	・国産ワインの人気は上昇しているが、暑さの影響で個人消費が落ち込んでおり、今後の見通しは横ばいで推移するものとみている。
	食品品製造業（総務担当）	・微減が続くのではないかと。酷暑の影響もあり、第1四半期以降もなかなか売上は上向かない。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・予想はしにくいだが、例年ある年末商材受注が見込まれており、さらに新商品展開の期待感もある。
	一般機械器具製造業（経営者）	・受注はおおむね安定した状態で推移しているが、為替動向、資材費の値上がり等、不安要素もある。
	電気機械器具製造業（経営者）	・現状がしばらく続きそうである。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・当面は現状維持で進みそうである。
	建設業（経営者）	・今はリフォーム工事の受注が順調だが、やはり公共工事や新築工事がないと、経営的には厳しくなる。
	金融業（調査担当）	・引き続き、製造業は高水準の受注を維持するとみているが、米中貿易問題の影響が世界経済に広がれば、景況感をやや下押しするのではないかと。一方、住宅など来年の消費税増税に向けた動きが出てくることも予想される。
	金融業（経営企画担当）	・米国の保護主義政策により、世界の景気動向が悪化する可能性がある。また、中国経済も減速懸念が出てきている。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・天候による好調な業種はあるものの、雑貨類を扱う営業マンは、「お中元を始め、節約志向が更に定着してきている」と話している。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・8月末には秋冬物展示会が開催される。国内卸、小売店、並びに中国人バイヤーの来場に期待するものの、現状が余りに低迷しているため、先行きの見通しが立たない。
×	食品品製造業（製造担当）	・等級品がない状態になりつつあるなかで、国内、諸外国でも良い物ができていない。原料や原油価格高騰の影響で様々な物価も上昇し、商品原価の値上げにかかっている状態である。
×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用	-	-

関連 (甲信越)	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートを含む全数の新規求職者及び有効求職者は、減少傾向が続いている。一方、新規求人数及び有効求人数は前年同期を大幅に上回っており、有効求人倍率は前月より0.05ポイント上昇し、1.46倍となっている。また、企業の来年の新卒採用意欲も前年以上に高いと感じている。</li> </ul>
	人材派遣会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・猛暑もあって、購買意欲が湧かず外出を控えているためか、店舗に行っても客がおらず、店員ばかりが目立っている。</li> </ul>
	求人情報誌製作会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節的に7～8月は特に忙しい、商店、サービス、運輸業等はパート、アルバイトの大募集をしているものの、採用人数は少ない。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規求人数は減少傾向にあるものの、有効求人倍率は依然として高水準である。企業の話からも採用意欲は高く、大きな変動はないと見込まれる。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の一部業種では原材料費の高騰、運送業の中には燃料費の高騰から、先行きを不安視する見方も出ている。</li> </ul>
		-
x	-	-